

2015年6月19日

## e-shelter によるオーストリア初の新データセンターの提供開始について

NTT コミュニケーションズ（略称：NTT Com）が株式取得を予定している、ドイツを中心に欧州でデータセンター関連サービスを提供する事業者 e-shelter(本社：ルクセンブルグ)は、2015年6月18日（現地時間）より、「オーストリア ウィーン 1 データセンター」の提供を開始します。本データセンターは、オーストリアの首都ウィーンにて、サーバールーム面積約 2,800m<sup>2</sup> を確保しています。今後、本データセンターは、サーバールーム面積を最大約 8,400 m<sup>2</sup> まで拡張予定です。

### 1. 背景

欧州におけるデータセンターの需要は堅調で、その市場規模は年平均約 9%の勢いで拡大すると予想<sup>\*1</sup>されています。また、オーストリアの首都であるウィーンは、欧州の ICT 企業などを中心に企業進出が加速しており、それに伴い、データセンターサービスの需要が急速に拡大しています。

こうした中、e-shelter は、さらなる事業拡大のため、オーストリアの首都ウィーンにて、新たなデータセンターの提供を開始するものです。

### 2. 概要・特長

「オーストリア ウィーン 1 データセンター」は、オーストリアの首都ウィーンのエリアや空港に近接した利便性の高い場所に位置しており、加えて、異なる変電所から冗長構成で引き込まれる大容量電力、ネットワークルートやキャリアを冗長化した可用性の高いネットワーク環境などにより、高い信頼性と柔軟性を実現します。

「オーストリア ウィーン 1 データセンター」の外観イメージ



## **(1) 柔軟に拡張できる低コストなデータセンター**

本データセンターの建物や設備は、お客さまの要望に応じ、柔軟に設備増設が可能なモジュラーコンセプトを採用し、低層構造にすることで投資効率を高めています。ホールセール(設備卸売)形態で、お客さまが必要とする専用スペースや電力、空調、セキュリティ、通信などのデータセンター設備を柔軟にカスタマイズ提供することもできます。

## **(2) 高効率な先進のグリーン性能**

欧州北部の冷涼な気候を活用した間接外気冷房を採用するなど、最新の省エネ技術を活用するとともに、米国グリーンビルディング協議会による「LEED」プラチナ認証に対応した、環境に配慮したデータセンターを提供します。

(参考) e-shelter の概要

(1)会社名	:	e-shelter
(2)本社	:	ルクセンブルグ
(3)設立年	:	2000年
(4)代表者	:	Rupprecht Rittweger, CEO
(5)拠点	:	ドイツ(フランクフルト、ベルリン、ミュンヘン、ハンブルク)、 スイス(チューリッヒ)、オーストリア(ウィーン)
(6)従業員数	:	約320名
(7)事業概要	:	欧州データセンターサービス事業者
(8)主要顧客	:	金融、通信、クラウド等 ICT サービス事業者、政府機関など

\*1: 米大手 IT アドバイザリ会社のガートナー社は、西ヨーロッパにおけるコロケーション市場は 2014 年に 38.9 億ドル、2017 年には 49.6 億ドルに成長すると予測している。(Gartner, The Five Distinct Market Segments of European Colocation Providers — Market Segmentation for IT Leaders より)